

## 伊伏 彰教授 略年譜並びに主要業績

### 【年 譜】

1933年（昭和8年）12月 大阪市阿倍野区昭和町に生まれる

### 【学 歴】

1957年（昭和32年）3月 大阪経済大学経済学部経済学科卒業（経済学士）

1962年（昭和37年）3月 関西学院大学大学院商学研究科修士課程修了（商学修士）

1965年（昭和40年）3月 関西学院大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学

### 【職 歴】

1958年（昭和33年）4月 大阪府立農芸高等学校（定時制課程）教諭

1967年（昭和42年）4月 鹿児島県立短期大学講師  
（簿記・原価計算・管理会計）

1969年（昭和44年）1月 鹿児島県立短期大学助教授  
（簿記・原価計算・管理会計）

1974年（昭和49年）7月 ハンブルグ大学経営経済研究所客員研究員  
（1975年3月）

1977年（昭和52年）4月 鹿児島県立短期大学教授（原価計算・管理会計）  
（現在に至る）

1986年（昭和61年）4月 鹿児島県立短期大学学生部長（任期2年）

1992年（平成4年）4月 鹿児島県立短期大学第二部部長（任期2年）

### 【非常勤講師】

1964年（昭和39年）4月 大阪学院大学商学部非常勤講師（簿記原理）  
（1967年3月）

- 1964年（昭和39年）4月 大阪学院大学短期大学部非常勤講師（簿記原理）  
（1967年3月）
- 1967年（昭和42年）4月 南日本短期大学非常勤講師（簿記学）（1971年3月）
- 1984年（昭和59年）3月 鹿児島経済大学非常勤講師（原価計算・管理会計）  
（1985年3月）
- 1987年（昭和62年）4月 鹿児島女子短期大学非常勤講師（会計学）  
（1988年4月）
- 1996年（平成8年）4月 鹿児島経済大学非常勤講師（会計学原理・管理会計・  
原価計算）（現在に至る）
- 1997年（平成9年）4月 鹿児島大学法文学部非常勤講師（管理会計・原価計  
算）（現在に至る）

### 【学会活動】

- 1962年（昭和37年）7月 日本会計学会会員（現在に至る）
- 1976年（昭和51年）10月 日本原価計算学会会員（現在に至る）
- 1982年（昭和57年）10月 日本会計史学会会員（現在に至る）
- 1991年（平成3年）9月 日本管理会計学会会員（現在に至る）

### 【研究活動】

#### ①共著

「近代会計の基本問題」

大阪経済大学会計学研究室

1981年3月

#### ②論文

「第三貸借対照表」

関西学院大学会計学会

「近代会計」2号

1966年1月

「非利用原価の原価性」

関西学院大学会計学会

「近代会計」3号

1966年 9 月

「税務会計の基盤構造分析」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」16号

1967年 11月

「意思決定会計の基礎理論 — H. コッホ「決定の方法」の所説について —」

鹿児島県立短期大学

「紀要」第18号

1968年 2 月

「原価計算と商的農業」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」17号

1968年10月

「原価計算と商的農業」(そのⅡ)

鹿児島県立短期大学

「紀要」第20号

1969年12月

「投資決定の最小収益率に関する一考察 — A. シュテルバッハ所説の展開 —」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」第20号

1971年12月

「行動科学と会計情報」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」21号

1972年12月

「分権的意思決定の調整問題 — D. アダムの諸説を中心として —」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」第22号

1973年12月

「鹿児島における農業協業経営の実態分析と問題点

— (1) 柑キッ生産農事組合法人の財務分析を通じて —」

鹿児島県立短期大学地域研究所

## 「研究年報」第2号

1974年3月

## 「企業農家の損益分岐点分析と利益計画の在り方

— 鹿県、大崎地区の「施設ヤサイ」を中心として —

鹿児島県立短期大学地域研究所

## 「研究年報」第4号

1976年3月

## 「酪農経営と原価計算 — 鹿県酪農経営指標にもとづいて —

鹿児島県立短期大学地域研究所

## 「研究年報」第5号

1977年3月

## 「キャパシティコストの配賦とライフサイクル

— K. メンツェルの所説を中心として —

鹿児島県立短期大学商経学会

## 「商経論叢」第30号

1982年2月

## 「管理情報としてのアウスフェールコストについて

— W. メンネルの所説を中心にして —

鹿児島県立短期大学商経学会

## 「商経論叢」31号

1983年3月

## 「投資決定と原価計算

— R. フイッケルトの『投資計算と原価計算の統合』 —

鹿児島県立短期大学商経学会

## 「商経論叢」35号

1987年3月

## 「原価差異分析の拡充について — J. H. Powelz 氏の所説を中心に —

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」36号

1988年3月

「製造間接費の配賦と自動装置工場」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」38号

1990年3月

「FA化と弾力的計画原価計算

— H. Siegwart & F. Rass の所説を中心として —

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」39号

1990年12月

「貢献利益の差異分析について — S. フィシャー所論の考察 —

鹿児島県立短期大学

「紀要」41号

1990年12月

「多品種少量生産方式の共通費計算 — R. Cooper の所説を中心に —

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」40号

1991年3月

「新生産技術下の投資経済性判定のための新手法

— H. Siegwart と U. Singel の所説を中心として —

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」41号

1992年3月

「新製品導入のさいの資金需要計算

— D. Adam と H. Wellensiek の所説を中心として —

鹿児島県立短期大学

「紀要」第43号

1992年12月

「不況下の原価政策について」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」42号

1993年3月

③学会発表

「原価計算と商的農業」

日本会計研究学会28回全国大会

(於甲南大学)

1969年5月

④翻訳

A, Schulz, Gedanken zu einer Informationsbetriebslehre

「A. シュルッツ『経営情報論についての一考察』」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」19号

1971年3月

Simultane, Absatzmenge-und Make-or-buy-Planung

「販売数量計画と自製または購買計画の同時決定」

鹿児島県立短期大学

「紀要」第42号

1991年12月

Wie Sie aus Ihrem Kostenrechnungssystem eine Prozesskostenrechnung ableiten

「プロセス原価計算システムへの実践的転換の一例」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」41号

1992年3月

Kostenüberlegungen im Rahmen der Netzplantechnik

「機会原価を考慮した日程計画法」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」43号

1994年3月

## ⑤資料

「鹿児島における農業協業経営の実態分析と問題点

— 農業組合法人の財務分析を通じて —

鹿児島県立短期大学地域研究所

「研究年報」第1号

1973年3月

「不確実性下の計画設定の問題点 — H. ヤコブ所説の展開（そのⅠ） —

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」25号

1976年11月

「意思決定会計の基礎理論 — B. ノイホフの「会計の組織」について —

鹿児島県立短期大学

「紀要」第27号

1976年12月

「投資計算における変動性考慮 — H. ヤコブ所説の展開」

鹿児島県立短期大学商経学会

「商経論叢」29号

1981年1月

## 【社会活動】

1. 鹿児島市共済組合幹事として（昭和60年4月以来、現在まで）市共済組合の経營業務、監査に学識経験者として参画する。職務として、毎年次、年2回、中間業務監査11月、決算監査5月を代表責任者として実施する。
2. 鹿児島県薬餌審議会の学識経験者の審議委員（学識経験者）として、（昭和60年4月以来、現在まで）鹿児島県の薬事行政の審議に従事する。定例年1回（毎年3月実施）